

令和5年7月

夏は夜。月のころはさらなり。雨など降るもをかし。

夏は涼しい夜がいい。夏祭りや花火大会に出かけるもいいし、おうちで雨音を聞いたり線香花火を楽しんだりするのも趣がありますね。工場夜景をバックにした宇部の花火大会もなかなかのものです。

最近、中学校の進路説明会に回っています。中学3年生と保護者の方に、10分程度で本校の特色と魅力をアピールしています。何校目かにたまたま中央高出身の有名人の話をしました。「やすこさんや、文豪ストレイドッグスの中原中也役の声優の谷山紀章さんなど、若い卒業生も多種多彩ですよ」と。すると、「やすこ」と言ったとたん、それまでお疲れ気味だった中学生の雰囲気のみるみる和らぎ、温かい空気になりました。それを見て、緊張気味だった私の表情も和らぎました。やすこさんたちに感謝です。

#### ○ 今やっていることは意味がある

宇部中央高新聞（162号）に、沢木耕太郎の『深夜特急』のことを書きました。これは青年の一人旅の話でした。実は私たちはみんな旅をしていると考えることもできます。旅行する者は、多くのことを享受するために、多くのことを断念するものです。生徒のみなさんの行く手には、当面、進路実現という関門が待ち受けています。その関門を通過するためには、多くのことを断念することになるでしょう。しかし、それは決して悲しいことではありません。好きなゲームも、ユーチューブも、推しのライブも今は断念することになるかもしれませんが、それはより多くのことを手に入れるためのものです。妥協しそうになったら、「今やっていることは意味がある」と自分を励ましてください。中央高生の今後の挑戦を楽しみにしています。

#### ○ この夏にやっておこう1 ～情報は自分から取りに行く～

志望する学校や就職先に合格する人としらない人の差は何でしょうか。私は、「情報は自分から取りに行く」ということが重要だと思います。これからは特にそうなるでしょう。

進学や就職の際の面接では、「あなたはなぜ本校（弊社）を選んだのですか。志望理由を聞かせてください。」と必ず尋ねられます。そのとき「家が近いから」とか「将来販売の仕事がしたいので」と答える人がいます。合格するでしょうか。面接官は受験者の情熱を求めています。どれだけ、熱心に調べているか、じっくり考えているかを探っています。

先日、1年生の進路講演会で講師の方が言われたことも気になります。大学に入ってから、思っていた学部・学科と違うと感じた人は3人に1人。大学そのものが違うと感じた人は2人に1人だそうです。入学（就職）する前によく調べておくことはとても大事です。オープンキャンパスは、比較的時間のあるこの夏にやっておきましょう。

そして、受験モードに入っていくとき、自分から取ってきた情報をもとに、自分独自の攻略本を作ってははどうでしょうか。その攻略本をより精度の高いものにするために、さらに情報

を取りに行く。自分の苦手な分野もそのままにしない。そうして作った攻略本はきっと皆さんの力になります。

※ 実は「自分から情報を取りに行く」ということは、今、みなさんが「総合的な探究の時間」でやっている探究なのです。この探究の成果が受験でも生きてくるのです。

### ○ この夏にやっておこう2 ～自分で時間をかけてじっくり考える～

もう一つ探究してほしいことがあります。それは、SDGsです。例えば地球温暖化による影響について、国連のグテーレス事務総長は、「地球は地獄に向けてアクセルを踏み続けている」と言っています。でも、どこか遠い話、自分一人じゃ無理、誰かが何とかしてくれるだろうと思っている人もいると思います。

先日、1，2年次生は「総合的な探究の時間」の授業で、山口大学の先生や宇部市役所の担当者、ユニクロの店長による出前授業を受けました。共通していたのは、あるべき未来の姿を思い、自分ごととして考え、自分にできることを取り組んでほしいということでした。

だれ一人取り残さない社会をめざすSDGs。自分さえよければという考え方とは真逆です。今、困っている人は、いつかの自分の姿かもしれません。困っている人を見捨てる社会は、いずれ自分も見捨てられる社会です。困っている人に無関心な社会は、いずれ自分が困ったときにも関心が寄せられない社会です。老々介護も、認知症も、セクハラ、パワハラも、拉致問題も、ハンセン病問題も、同和問題も、誹謗中傷も貧困も。そして地球環境の問題も。

「他者を守ることが、自分を守ることににつながる」、これが持続可能な社会の本質だと思います。リスペクト・アザースです。

「自分には関係がない」、「かわいそうだけど自分じゃなくてよかった」ではなく、SDGsの問題は私たちの問題であるということ。「他人ごと」ではなく、自分ともつながる「地続き」の問題として、気づき、考え、行動することが重要です。自分「だけ」が未来永劫、守られるなんて、甘い話はありません。

中央高生の皆さんには、自分にできることを探究することを通して、「ひとごとじゃない。だから協力するんだ」ということに気付いてほしいと思います。気付いたら、答えを出すのをAIに任せるのではなく、自分で時間をかけてじっくりと考える人になってほしいと思っています。

### ○ 校庭紹介（7月）



藤棚（パーゴラ）：昭和43年完成

宇部市からいただいた花の苗を生徒たちが植え付けました。成長が楽しみです。



五角堂：昭和44年完成

ひまわりの苗が元気に育っています。ひまわりはウクライナとロシアの国花です。早く平和になってほしい。